

# 2018年新春旗開き開催！

『有村浩幸さんの遺志を受け継いで奮闘しよう！』



1月8日、地本は西町甲東会館において、2018年新春旗開きを開催しました。冒頭、昨年12月30日にご逝去された関西地区分会有村分会長に対し全員で黙祷を捧げました。

第一部は、小林地本委員長の年頭所感で始まりました。その後、来賓の皆様から連帯の挨拶をいただきました。

## 【小林委員長年頭所感・要旨】

- ・私たちは有村さんの遺志をしっかりと受け継いで、これからも人間が人間らしく生きていける 平和な社会を実現するために奮闘しよう！
- ・昨年は現代版の治安維持法といわれる共謀罪法が強行採決された。今年は憲法を改悪するための国民投票が行われるかもしれない。正念場の年です。「さあ跳べ！ここがロドスだ！ここで跳べ！」です。
- ・当面する課題の一つ目は、ボーナスカット攻撃を許さない態勢を堅持し、年休裁判そして欠勤損害賠償本人訴訟を一丸となって闘っていこう！
- ・二つ目に、昨年12月11日に発生した新幹線34A事故で何が問われたのかを明確にして、JR総連・JR西労の仲間と共に車両の安全と乗客の安全を第一に考えた闘いを更に強化していこう！
- ・三つ目は、職場と地域で働く仲間と共に戦争に行くのではなくて、きたる国民投票の日には必ず投票に行き、憲法改悪に「NO」を突きつける事のできる仲間を拡大していこう！
- ・これからも諦めずに、騙されずに、そして人間性を失わずに、そして戦争につながる生き方を拒否して、仲間と体を大切にして、職場と地域から奮闘しよう！

第二部では、各分会の代表やOB会の先輩方から有村さんを偲ぶ挨拶をいただきました。そして有村さんの遺志を受け継いで奮闘していく決意が表明されました。

【各分会代表、OB会の仲間より】

- ・職場で働く者の代表として闘う仲間と共に闘う。
- ・有村さんの遺志を引き継いで今後も活動していく。
- ・有村さんは、諦めずに闘うスピリッツを教えてくれた。
- ・ボーナスカットを許さない闘いの成果を「年休裁判」につなげていく。
- ・「年休裁判」の闘いを社会的に広めながら、おかしいと感じている仲間と一緒に闘っていく。
- ・「34A事故」で会社の安全姿勢が問題になっている。「あれはJR西日本の問題」ではすまされない。
- ・分会には、力をもった仲間が沢山いる。今後も職場の中心軸となって頑張っていきたい。
- ・3月17日ダイヤ改正、「車内業務の見直し」で乗務員が減らされて、お客様の生命が危険にさらされる。
- ・無理矢理出向に行かされる社員がいる。
- ・パッセンジャーズサービスでも退職者が続出するそうだ。
- ・有村分会長が亡くなったことは、関西地区分会、関西地本において大きな痛手だ。勿論東海労にとっても大きな損失だ。しかし、何時までも落ち込んでいるわけにはいかない。有村分会長がやっていたこと、そして、やろうとしていたことを同志としてしっかり受け止め頑張っていく。
- ・今の日本は、憲法を改悪しようとして突っ走っている。それをストップする勝負の年。有村さんの遺志を引き継いで頑張っていく。
- ・もっともっと本音を語り合える仲間づくりをやっていこう。
- ・通り一遍のやり方ではなく職場や社会の実態にあったやり方が大切。最後にOB会工藤会長の献杯で終了しました。

